

みなみいせ 2013



27号

2013.8.1

議会だより



夏の交流会

—五ヶ所小・久々野小—

主な内容

- 平成25年 第2回
6月定例会…………… 2～3
- 一般質問…………… 4～13
- 視察レポート…………… 14～15
- みんなでやっとなるで～ ほか… 16

発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

平成25年第2回定例会

平成25年6月18日から21日までの4日間、6月定例会が開催され、承認1件、条例の一部改正4件、平成25年度補正予算7件、財産の減額貸与1件、工事請負契約の締結4件、報告3件、委員会発議1件、議会推薦1件、議員派遣1件、協定の締結1件が原案どおり可決・承認されました。また、請願は1件が不採択、2件が委員会付託となりました。

一般質問では議員10人が質問を行いました。

議案

- 地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例
全員賛成
- 平成25年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
全員賛成
- 平成25年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算(第1号)
賛成多数
 反対議員 岡田和夫
- 平成25年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
全員賛成
- 平成25年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
全員賛成
- 平成25年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
全員賛成
- 平成25年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
賛成多数
 反対議員 岡田和夫 手塚征男
- 財産の減額貸付について
全員賛成
- 工事請負契約の締結について
全員賛成
- 工事請負契約の締結について
全員賛成
- 定住自立圏の形成に関する協定の締結について
全員賛成
- 工事請負契約の締結について
賛成多数
 反対議員 岡田和夫 手塚征男
- 消費税増税を再検討する意見書の採択を求める請願
委員会付託

発委

- 工事請負契約の締結について
全員賛成

- 南伊勢町議会議員定数条例の一部を改正する条例
賛成多数
 反対議員 岡田和夫 手塚征男 西 則孝 沢村圭也

承認

- 専決処分した事件の承認を求めることについて
 認を求めることについて

報告

- 繰越明許費繰越計算書について(3件)

その他

- TPP(環太平洋経済連携協定)への参加をやめるよう求める請願(委員長報告)
不採択に賛成多数
 反対議員 岡田和夫 手塚征男
- 南伊勢町農業委員会委員の議会推薦について
- 南伊勢町議会議員派遣の件について

請願

- TPP(環太平洋経済連携協定)への参加をやめるよう求める請願(委員長報告)
不採択に賛成多数
 反対議員 岡田和夫 手塚征男

補正予算 主な質疑

どのような事業か

問 議員 風しんワクチンほどのような対象者で何人程度の接種を予定しているのか。

答 福祉課長 妊娠予定者及び妊娠を希望している女性120人、同居家族120人、合わせて240人を予定している。



産まれてくる子どものために

改修はどこなのか

問 議員 漁港建設費の奈屋浦漁港の測量・設計は、どの部分が壊れて改修が必要なのか。

答 議員 漁港建設費の上。奈屋浦漁港は県下の水揚げがあり、くまの灘漁業権益の重要拠点に位置づけられている。また、発災時には、岸壁からの緊急物資の輸送拠点となるなど、地域水産業の早期再開拠点施設として、機能などを確保する必要があります。そのため、県からの要請に応じて施設の耐震機能診断を行う。

答 水産農林課長 今回は施設が壊れたのではなく、県から重要拠点漁港施設の耐震診断を一斉に行ってほしいと要

町の方針は

問 議員 国から地方公務員給与7.8%引き下げを地方自治体に求められている。当町は実施が見送りになると思うが、その理由は。

答 総務課長 これまで独自の人件費削減に取り組んでおり、今回国から示された案件はそれらが反映されていないことから、現在のところ予算計上していない状況。

その他使用料の説明を

問 議員 保健衛生総務費の「その他借上使用料」の内容説明を。

答 福祉課長 三重大学との連携講座を実施しており、講座のための研究室としての使用料。



体力増強

事業の内容は

問 議員 「地域支え合いサロン整備・啓発事業補助金」の具体的な内容は。

答 福祉課長 高齢者に集いの場を提供するサロン事業で、高齢者による自主運営を前提としたモデル地区を選定し、展開していくもの。サロン事業の未実施地区において、老人クラブを主体として実施してもらい、サポーターの派遣、資材や会場の準備などを補助し、「地域支え合いサロンモデル事業」として展開する。

要因は他に

問 議員 人件費について、人事異動に伴う増減があると思うが、それ以外の要因はないか。

答 総務課長 人事異動に伴うものと退職者分の人件費減額となっている。

なぜ減額なのか

問 議員 一般コミュニティ助成金の減額理由は。

答 行政経営課長 一般コミュニティ助成金事業は、自治総合センターが実施する事業で、当初予算計上時点で申請のあった11地区のうち、6地区が不採択となったことで減額となった。

副作用をふまえた対応は

問 議員 子宮頸がんワクチン接種による副作用に関して、当町の見解は。

答 福祉課長 接種をされる方に問題を周知し、納得してもらったうえで接種を実施していくことを考えている。



会議用机、会議用いす (他にワンタッチテント)

2次避難所の確保は 34施設で11,000人程度の見込み



町長

澤村 圭也 議員

問

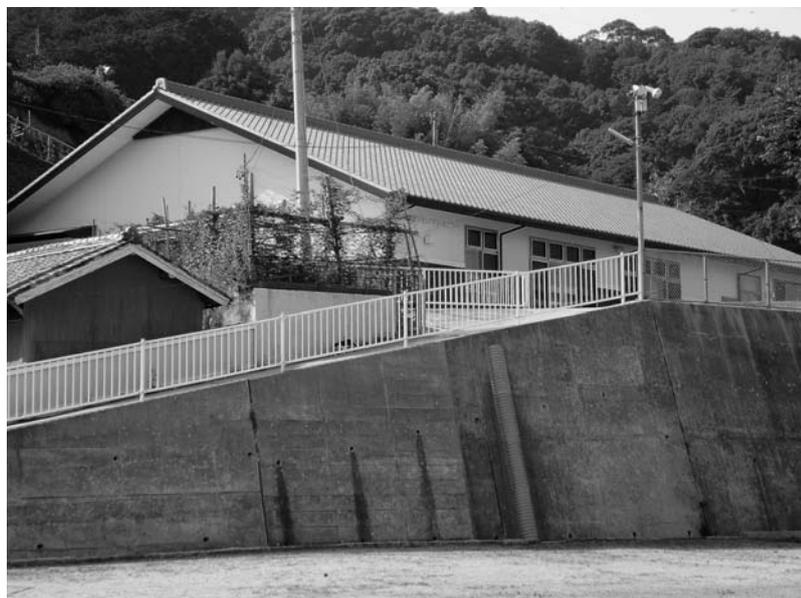
災害発生後、町民が体を休められる高台の2次避難所は何ヶ所で、何人の収容が可能か。また、今後の計画と津波防災タワーについての各地区の要望は。

答

町長 現在の地域防災計画では、51施設で14,136人を収容するようになっているが、南海トラフ巨大地震の浸水想定を踏まえ、現在見直し作業中。これにより34施設11,000人程度になる見込み。また、今後は2次避難所をできるだけ近くに確保できるように検討を重ねていく。津波防災タワーは、五ヶ所地区より要望がある。



高台の避難場所（五ヶ所小学校）



2次避難所（迫間浦）



岡田和夫 議員

渚苑の水道問題への対応は

民と民の契約関係に

立ち入りできない 町長

問 下津浦の渚苑にて、住民が水道の管理会社から施設改修費として60万円を請求され、未払いの問題に対する町の対応は不適切では。

答 町長 町は別荘管理者と水道の給水契約を結んでいる。別荘住民は個々に管理会社と契約している。町は渚苑の親メーターを検針し、水道料金を別荘管理会社に請求することになっており、別荘地内の水道施設は管理会社の所有・管理であって、町が立ち入ることができない問題。県にも相談したが、同じ回答であった。ただ、消費生活センターを通じ、弁護士の利用もできることなので、住民にその旨を伝えた。

問 町内で開業している医師が60床規模の特別養護老人ホーム建設を計画し、町民が期待している。課題としての国立公園法や建設資金面などに対して、町としての援助や協力は。

答 町長 建設の申請を予定している場所は、伊勢志摩国立公園に指定されており、許認可が大変厳しく、県道との交差点の協議など課題も多いが、解決に向けて協力する。また、この介

護老人福祉施設の整備について選定されると県補助金が助成されるので、行政としてできることを協力する。

特別養護老人ホーム建設に期待

課題はあるが協力していきたい 町長



開設に向け



岡本 眞 議員

高齢者の健康増進施策は

健康づくりの事業を進める

町長

問

人類がはじめて迎える高齢化社会の中で、行政としても健康づくりを進め、元気な高齢者になってもらうための施策が必要と考えるが。

答

町長 高齢になっても元気で生き生きと、長生きしていただくことを目指して、健康づくりの事業を進めている。体操や食事など、健康的な生活習慣を自主的に継続できるように、健康教室を身近な地区の集会所などで開催している。

健康増進 ゴムバンド体操



今年度は町立病院や社会福祉協議会と一緒に実施し、健康教室の多様な担い手育成にも取り組む。地域の意向を十分尊重し、活性化に資する有効的活用方を地域とともに検討したく、まず役場内での検討プロジェクトをスタートさせたい。

南海トラフ巨大地震への備えは

減災対策に取り組んでいく

町長

問

南海トラフ巨大地震について国の最終報告が出されたが、町としての防災対策の現状と課題、また今後の取り組みは。

答

町長 防災対策として、一次避難場所と避難路の見直しと整備、木造住宅の耐震化への取り組みを行っている。また、各地区では防災マニュアルの作成や訓練を実施している。

その他の質問

課題としては町民生活全般に及ぶ備えをしてい

●町政の進むべき方向性について



防災訓練の様子(奈屋浦)



掛橋 靖 議員

地域活性化の核となるか

有効活用できる体制づくりが必要 教育長

問

ふれあいセンター
なんとうを地域の
人々が楽しく集い、思い
を寄せて活動できる地域
活性化の核として活かす
には。

答

教育長 福祉棟で
は各種食育などの
教室や、介護のデイサー
ビスが行われ、ホール棟
では催し物や講演会など
を実施している。また、
新たに始まった放課後児
童クラブや図書室は評判
が高いと聞いている。しか
し、ホール棟をもっと活
用するためには常時管理
できる体制づくりが必要



放課後児童クラブ（ふれあいセンターなんとう）

問

当町の漁業は深刻
な問題を抱えてい
る。この局面を打開する
ためには漁業者、組合と
連携した施策が必要では

答

町長 沿岸漁業者
や魚介類養殖業者
の漁業経営が安定するよ
うに、資源管理型漁業の
推進と藻場の保全、そし
て、水産物の販路拡大を
図る。具体的にはカサゴ・
アワビの放流、アコヤ貝
稚貝のサイズアップ、ま
た、ひじき、アラメ、カ
ジメによる藻場再生に取
り組む。

当町独自の水産振興策は

資源管理型放流事業と藻場の再生を図る

町長



カサゴ放流（神前浦）

進路選択の自由と親の負担軽減を

通学の利便性を高める努力をしている 教育長

問

取り組みとして南
伊勢高校南勢校舎
の教育の充実も図られて
いるが、町外への進学率
も高く、環境整備が急務
では。

答

教育長 南伊勢高
校南勢校舎の受験
学力向上も目ざましく、
今年、金沢大学の医学部
にあたる学部へ入学した
生徒もいる。また、町外へ
の高校進学者については、
現状、さまざまな事情で
難しいが、通学の利便性
を高める努力をしている。



山本 芳隆 議員

衛星携帯電話購入台数は

5 台購入

防災課長



発災時に活躍する（衛星携帯電話）

問 衛星携帯電話は何台購入し、誰が携帯するのか。

答 防災課長 5台購入し、町長・副町長・総務課長・防災課長・防災係長が所持している。

問 南海トラフの巨大地震・大津波を想定した防波堤の検討が必要だと思うが。

答 建設課長 空洞化調査の結果を踏まえ、施設の機能保全に向けた整備を県により進めている。漁港施設は、発生時の拠点漁港とすべく、整備に必要な調査費を今回補正予算に計上した。

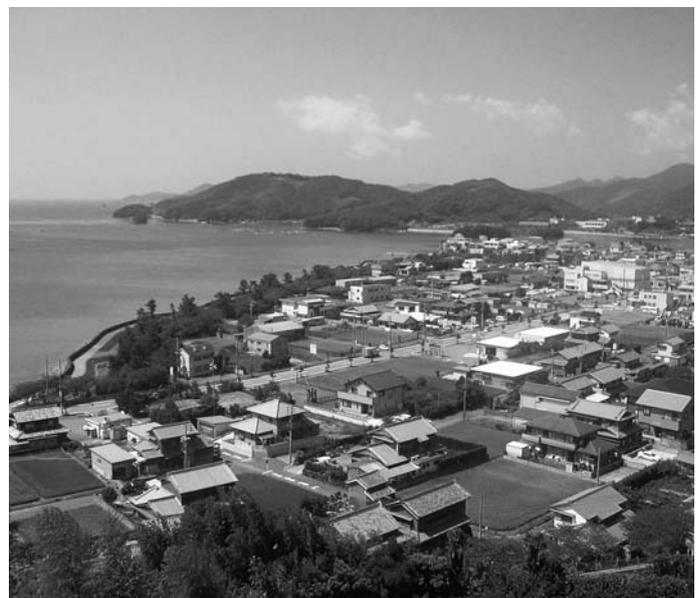
人口減少・若者定住対策は

重要な政策である

町長

問 人口減少・若者定住対策は大きな課題・難題であるが、対策は

答 町長 公表された将来の推計人口によると、平成22年の当町の人口14,791人は、30年後には6,431人に減少するとされており、人口減少・若者定住対策は緊急の課題として優先的に進めていかなければならない重要な施策と考えられている。若者定住促進を図っていくために総合行政として、地震津波対策、漁業・農業・観光業などの産業振興、子育て支援、保健・医療・介護サービスの充実、道路整備などに取り組んでいるが、さらに重要な政策として重点的に進めていく。



くいとめる 人口減少



山本周也 議員

保育料の無料化を

早急には困難 町長

問 政府与党は3〜5歳児の保育料無料化に関して検討を始めていますが、当町において、先行実施してはどうか。

答 **町長** 国において、幼児教育の一部無料化の実施に向けて、議論されていることについて注視しているが、財政負担を考えると、保育料の無料化は、すぐには難しいと判断している。若者定住対策の中で、子育て世代の負担軽減を検討していきたい。



南勢校舎生徒の通学の様子

南勢校舎への通学費の助成は

補助金交付を検討中 教育委員会事務局長

問 町長及び教育長が、南伊勢高校南勢校舎の存続に、努力されている事は認識しているが、以前に南勢校舎への通学費の助成を実施したい旨の発言があったが、現在の状況はどうか。

答 **教育委員会事務局長** 南伊勢高校南勢校舎通学費助成については、「南勢校舎存続のため、町営バスに限り、できれば半額の助成、割引についても協議中」と答弁させていただきます。現時点では、通学者に対する補助金交付を検討中。

グループホームの施設整備は

着実に進める 福祉課長

問 南伊勢町第三期障がい者福祉計画（平成25〜26年）において、共同生活援助5人分を平成25年度に見込んでいるが進捗状況は。

答 **福祉課長** 南伊勢町地域自立支援協議会、計画策定委員会などで「障がい者の親亡きあとの問題」などが議論され、平成25年度に5床、

26年度には3床の整備目標がなされた。夏ごろには、県のグループホーム等整備補助金の意向調査があるとの事なので、補助金を活用したいとの意思表示をする予定。町内に開所できるように着実に進めていく。

その他の質問
●人口減少に対し町行政はどのように向き合おうか



いなべ市にあるグループホーム



田中喜一郎 議員

職員の適正人数・労働環境は

定員管理に取り組む

町長

問 当町は人口減少が進み高齢化率が高く、若者定住や産業振興施策などが急がれる。このことを踏まえ、当町における適正な職員数、職員の有給休暇などの職場環境はどうか。

答 **町長** 当町における適正な職員数の考え方は、総務省から「類似団体別職員数の状況」が発行されており、これらのデータを参考に、当町が置かれている状況やさまざまな要素を分析・参考にしながら、新たに取り組む施策や業務量なども考慮して、定員管理に取り組む必要があると考えている。現在、具体的に何人が適正な職員数との判断には至っていないが、引き続き取り組んでいく。

また、平成24年の有給休暇の取得状況は、事務職員で平均7〜8日の取得となっている。



職場環境は



進むバリアフリー化（中津浜浦）

町内施設・道路のバリアフリーの進捗は

バリアフリー環境整備は大切

町長

問 南伊勢町絆プランには、子どもや障がい者、高齢者に対して町内施設や道路のバリアフリー化を図り、安全で快適な生活環境を推進するとあるが進捗状況は。

答 **町長** 急速な少子高齢化が進む中、すべての町民が安全・安心して生活し、社会参加

南伊勢町絆プランが図れるよう、バリアフリー環境を整備する事は大切であり、「どこでも・誰でも・自由に・使いやすく」といった考え方を踏まえて取り組んでいきたい。

答 **町長** 急速な少子高齢化が進む中、

その他の質問

●障害者優先調達推進法について



西 則孝 議員

車両や備品の処分は

状況に応じて更新や廃棄を行う 総務課長



15年経過した車

問 車両や備品等の処分の現状と問題点は。

答 総務課長 車両は、基本的に取得後15年以上経過し、走行距離15万キロ以上のものは、状況判断し、下取りを含めた入札により更新。備品は、不具合が発生した時点や、不要となった時点で状況判断し、更新や廃棄をしている。

災害時の協力体制のあり方は

助け合える態勢を 町長

問 予想される大地震と津波の被害想定をふまえた、町内各地区の協力態勢のあり方は。

答 町長 各地区で地

区ごとの災害対策行動計画を作成してもらい、地区独自の防災訓練や防災対策に取り組んでもらえるよう支援していく。今後は、被害を最小限にできるよう自主防災組織などと連携し、命を守ることを基本として減災対策に取り組み、地区と地区が助け合える態勢を整えていきたい。



打診結果を説明

打診の結果は

手放す予定はないとのこと 町長

問 芦浜の土地について譲渡の打診をした結果は。

答 町長 平成25年4月17日に中部電力

三重支部に伺い、土地を寄付してほしいとの申し入れをしたところ、どう使うかは決めていないが、手放す考えはないという返答であった。



東 伊久雄 議員

農林業の振興対策は 情報の提供を

町長

問 農林業振興対策として農地利用集積事業の進捗及び状況把握は。

答 **町長** 先々月、農業委員の方々や関係区長に事業説明をし、今後は集落営農に意欲的な地域を中心に、県政室とともに制度の普及を図っていききたい。国が農業分野での成長戦略として「耕作放棄地の解消」と「農地の利用集積」を掲げており、この動向にも注視していききたい。



新規作物のブドウ栽培

問 新規作物試験栽培事業の試験栽培後の考え、関り方は。

答 **町長** 『南伊勢町ワイナリーの会』と町との共同試験栽培事業としてスタート。今後はブドウ栽培に必要な農地の取得や、借り入れに関する情報の提供、国の補助金交付金制度を活用した支援を行っていききたい。

統合後の施設利用は

地域の意向を尊重して 町長

問 統合により閉校となる施設の有効活用は。

したく、まず役場内での検討プロジェクトをスタートさせたい。福祉関係の事業所などからの問い合わせがあるが、すでに公共施設として活用されているものもある。

答 **町長** 地域の意向を十分尊重し、活性化に資する有効的活用の方策を地域とともに検討



有効活用を（穂原小学校）



手塚 征男 議員

『脱原発をめざす首長会議』への参画は

今のところ考えていない 町長

問 『脱原発をめざす首長会議』に参加し、一緒に知恵を出し、行動していくことについてどのように考えているか。

答 **町長** 『脱原発首長会議』の目的や、「新しい原発は作らない」という方向性は賛成であるが、当町は立地をさせなかった町、原発の選択をしなかった町として、原発に頼らず、事業の振興や生活環境の整備・充実のための政策の推進に全力を尽くしていきたい。



方針を答弁

問 不明金問題について、町民に納得してもらえない方向で一日も早く解決していくことをどのように検討してきたのか。

答 **町長** 20年以上の年月が経過しているため、これ以上の真相解明や責任の明確化は極めて困難である。町からの請求に対する対応や、時効の主張の事実上の重みを考慮すると、これ以上の請求を続けることは公益につながらないと判断した。今後とも情報公開の徹底などの再発防止に全力で取り組む。

不明金問題どうする

公益を考え判断

町長



百条委員（当時）の現地調査

視察レポート

石川県・岐阜県 木材利用と 行財政改革などの視察



多目的利用が可能

石川県加賀市のジャパンドームハウス(株)は、従来の構造材にない「発泡ポリスチレン」を使った住宅を制作しています。



キットハウス

次に訪ねたのは、下呂市金山町の(株)金山チップセンターです。本町の山林をいかに利用すれば産業振興になるかがテーマです。同センターの面積は約1万2千坪で、チップの生産は年間2万トン、販売は製紙会社との契約を基に展開されています。近隣より原料の材木が搬入され、地域と共に歩まれています。チップ以外に薪として製造販売されており、写真のような荷姿で、遠くは関東方面にまで販売されています。長さは約40cmくらいにそろえられ、1トンの価格は1万8千円前後であり、主に個人の方を対象

にストープ用として出荷されています。現在では品薄の状態でした。薪としての事業の成否は販売のシステム作りであると改めて感じられました。

今回訪れた3ヶ所の企業では、何よりも会社を経営する努力に勉強させられました。ぜひ、今後に役立てたいと思います。

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

ました。

また八百津町は、ナチスドイツの迫害から6千人のユダヤ人の命を救った日本人外交官、杉原千蔵(すきはらちかづ)の生誕地です。八百津町では、杉原千蔵記念館を造り、イスラエルなどとの交流とともに、子どもたちに杉原千蔵の精神を学ばせています。

また八百津町は、ナチスドイツの迫害から6千人のユダヤ人の命を救った日本人外交官、杉原千蔵(すきはらちかづ)の生誕地です。八百津町では、杉原千蔵記念館を造り、イスラエルなどとの交流とともに、子どもたちに杉原千蔵の精神を学ばせています。

また八百津町は、ナチスドイツの迫害から6千人のユダヤ人の命を救った日本人外交官、杉原千蔵(すきはらちかづ)の生誕地です。八百津町では、杉原千蔵記念館を造り、イスラエルなどとの交流とともに、子どもたちに杉原千蔵の精神を学ばせています。

また八百津町は、ナチスドイツの迫害から6千人のユダヤ人の命を救った日本人外交官、杉原千蔵(すきはらちかづ)の生誕地です。八百津町では、杉原千蔵記念館を造り、イスラエルなどとの交流とともに、子どもたちに杉原千蔵の精神を学ばせています。

また八百津町は、ナチスドイツの迫害から6千人のユダヤ人の命を救った日本人外交官、杉原千蔵(すきはらちかづ)の生誕地です。八百津町では、杉原千蔵記念館を造り、イスラエルなどとの交流とともに、子どもたちに杉原千蔵の精神を学ばせています。

新素材を使った ドームハウスの家

6月24～26日、石川県・岐阜県を回り、震災時の仮設住宅を造るメーカー、間伐材の利用で業績を上げる3ヶ所の企業と、行財政改革に取り組み続けている町を視察してきました。

この基本型のもの以外に、奥行きを広くしたロングタイプや農業用ハウスなどの多目的なものがありました。

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

本町の山林の利用の 模索と震災に備えた 住宅建設のために

6月24～26日、石川県・岐阜県を回り、震災時の仮設住宅を造るメーカー、間伐材の利用で業績を上げる3ヶ所の企業と、行財政改革に取り組み続けている町を視察してきました。

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

この素材の長所は、軽量、超断熱性があり、地震に強く、短期施工、強風に強い、長期の耐久性があることであり、短所は、燃えにくいですが、火事などの熱に弱いということです。2次避難所として充分使えると思われる

(株)金山チップセンター



原料の材木

ログキットハウス

3ヶ所目は各務原市の親和木材工業(株)です。家をパズルのように組み合わせるログハウスを製作・販売をしています。素人でも協力して建てるのができ、3坪のログハウスでは、約64万円からあり、継ぎ足して部屋を増やすこともできます。高台に震災時の避難用住宅として造って

造って、物置や別荘として使うのにも適しています。

造って、物置や別荘として使うのにも適しています。

造って、物置や別荘として使うのにも適しています。

行財政改革を 推進し続ける町

岐阜県八百津町は、平成の合併をしなかつた町で、本町と同様、人口減少が進む過疎の町です。八百津町が行財政改革を一貫して続けているのは、人口減少する将来の町に備えるためです。町の第4次行財政改革大綱には、「将来を見据えた政策の選択と優先度の見極めをより重視し、行財政改革の効率化をめざす」と記され、「住民の福祉増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げる」と、地方自治法規定の実践の決意を記しています。

岐阜県八百津町は、平成の合併をしなかつた町で、本町と同様、人口減少が進む過疎の町です。八百津町が行財政改革を一貫して続けているのは、人口減少する将来の町に備えるためです。町の第4次行財政改革大綱には、「将来を見据えた政策の選択と優先度の見極めをより重視し、行財政改革の効率化をめざす」と記され、「住民の福祉増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げる」と、地方自治法規定の実践の決意を記しています。

東日本大震災 復興の様子を視察

復興作業は 進みつつあるが

6月26日朝、私たちは盛岡から2台のレンタカーに分乗し宮古市のスーパード堤防のあった田老町を訪れた。この地で海産物の加工業を営む50代の女性から、「あの日のことはよく思い出すが、逃げてばかりいないで向かい合わなければ、最近になってようやく決心しました。『備え』は、できる限りやっておいた方がいいですよ。」と、生の声を聞くことが出来た。水産業は動きだしていたが、町はまだまだ震災の傷跡が生々しい。

宮古市田老町の次に向かったのは、南伊勢高校の生徒達が災害ボランティア活動をした山田町。復興にかける「語り部食堂」オーナーの山崎純さんに昼食をとりながら当時の話を聞いた。

山崎さんの話は、身に迫るものがあった。



被災した旧大槌町役場

- 寄せる波より引く波の力がすく、電柱は根元から折られ、家も持っていられなかった。
- 津波がおさまった後、火災が発生し3日間燃え続けていました。
- 動ける車は全て、救急車の代わりとなっていました。
- 震災後、町で一番早く復興食堂店を始めましたが、頑張れと言ってくる人も多かった反面、ねたみもありました。
- 情報が何も入ってこなかったため、ラジオは絶対必要だと思えます。
- 1ヶ月風呂に入れませんでした。水だけは確保しておいた方がいいと思います。

次に、町長をはじめ数十人の職員が犠牲になった大槌町へ向かった。役場庁舎はほぼ骨組みだけの高さ6メートルくらいのところ設置された時計は、津波が襲った時刻をさして止まっていた。町では、この庁舎の今後について意見が分かれ、何度か何度も話し合いを重ねたが、まとまらなかった。しかし、ある高校生の「1000年後の命を守るために考えてほしい。」との言葉が、庁舎の一部を残し、後世の為に

震災の教訓を伝えることとなった。

その後、釜石市に向かった。あの惨事にして子どもが一人も犠牲にならなかったことは、「釜石の奇跡」とまでいわれ、日頃の「備え」が出来ていればこそ。まさに「備えあれば憂いなし」「津波でんでんこ」この言葉の意味は大きい。

大船渡市、陸前高田市と回る。一昨年訪れた時から比べると町に活気がみなぎり始めた感がある。復興の象徴として復元された「奇跡の一本松」を眺めながら漁港の整備が進む気仙沼市へ。この日は、内陸部の一関市に宿泊し、早朝、南三陸町に向かった。

事をよく覚えていて、南三陸町その後の復興の様子など詳しく話してくれた。次に、高台の仮設住宅を訪問、30代の男性がしみじみと話してくれた。

- 南三陸町は土地が少ないため61ヶ所に仮設住宅を建てています。
- 新しいコミュニティの形成が必要となり大変でした。
- 仮設住宅は工夫をしないと住めません。（縁側プロジェクトや足の不自由な人への配慮が必要。）



高台の仮設住宅から（南三陸町）

この後、大規模な復興整備が進む石巻漁港、地盤沈下が激しく大潮時の冠水への対応が急務となっている塩釜港に向かった。さらに、海岸線を南下し、産業道路沿いの郊外型商業施設が多く被災した多賀城市の復興を目の当たりにしながら、夕暮れの仙台市に着いた。最終日、仙台市内でも被害の大きかった若林区荒浜地区を訪れる。廃虚となった小学校には、「ありがとう、夢、希望、未来」の横断幕が掲げられていた。

震災後2年余り、水産関係や産業の復興は進みつつあるが、仮設住宅やふるさとを離れて暮らす人々の復興はまだまだ遠い。『空白の2年間』被災した人々は口にする…。近い将来、高い確率で発生するといわれている南海トラフ巨大地震。私達ももっともつと『備え』が必要と強く感じた視察だった。

みんなでやっとなで～

町内のがんばっている人を紹介します！



いずみ楽農会

設立 平成 15 年 会員数 12 人

主な活動

- 炭焼き、田んぼの学校、地域イベントの参加、SUN！3！サンデー！ふれあい市出店、国際交流

～だからできない、～だからだめだ。ではなく、今ここに住んでいるからこそできることで地域を元気にしよう！みんなが笑顔になれる場を作ろう！と農業を通して山と海と人を元気にする会として発足した、いずみ楽農会。

昔ながらの農作業の手技や農村の伝統を若い世代や子ども達、国内外からの体験希望者に伝えつつ、性別、年代、地域、人種の異なる様々な人々が交流し学びあう場を提供しています。

手入れされなくなった里山の再生、海の浄化、獣害の減少を願って始めた炭焼きは今年で 11 年目になります。焼いた炭は 8 キロ 1,000 円で販売し、その売り上げで田んぼの学校を開催しています。(今年度のみ休校)

田んぼの学校は体験することで、食と農そして人とのつながりの大切さを学んでほしいと小学生やその保護者を中心に開講。参加費無料で田植えや稲刈り、収穫祭などを行っています。

海外からの参加者も多く、アメリカ、カナダ、ドイツ、フランス、タイ、台湾、ルクセンブルグ等々、性別、年代、人種を超え共に体験することで学びあい感じあう場を提供しています。子ども達にはここで体験したこと、感じたことが将来の糧となればと願っています。



■ 今後の方向性

現在はイベント開催時にしか集うことができませんが、将来的にはいつでも誰でも気軽にこられる場を炭窯近くに作りたいと思っています。集い、交わり、学びあうことで多くの笑顔が生まれ、人も地域も元気になるお手伝いのできたら嬉しいです。

メンバー随時募集中です。

募 集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。どんなことでもかまいません。 ※下記の議会事務局まで

議会広報特別委員会

委員	副委員長	委員長
山本 芳隆	岡本 眞	東 伊久雄
掛橋 靖	林 孝充	

議長
上村 久仁

議会を傍聴しませんか

9 月定例会が開催されます。開催は 9 月 10 日～ 9 月 17 日の予定です。ぜひ傍聴してください。(当日、総務課で受付をしてください)



編集後記

例年より早く梅雨が明けたと思えば、烈火の如く日差しが降りそそぎ、真夏日が突出したと言われる平安から鎌倉時代以来の千年猛暑と呼ばれる灼熱地獄となりました。皆さまにおかれましては、熱中症や食中毒対策は万全でしょうか？お身体には十分お気を付けください。さて、私たち議会もこの 6 月定例会におきまして、議員定数を 2 議席削減し、14 とする条例案を可決致しました。今後いっそう身を引き締めて、議会活動を実践していきます。



議会だよりについてのお問い合わせなどは、議会事務局までご連絡ください。
TEL 0599-661781
FAX 0599-662164